

FB通信

うつのみや



⑮ -2021/6/25- //2019年1月15日創刊//

NPO法人フードバンクうつのみや
栃木県宇都宮市埴田 2-5-1 共生ビル 1階
TEL 028-348-3412
URL <https://fbu2189.org>
FAX 028-623-6036



協力して、より多くの人へ食品を。 一緒に支援の輪をつくりましょう

6月に栃木県内7つのFBが合同で「きずなの食品配布会」を行いました。県内でもFB活動を行う拠点が増えつつありますが、それぞれにできることを行っているのが現状です。折角できたFB拠点なので連携し協力しあえば、更に力を発揮してより多くの人を助けることができると思っています。その一歩として昨年8月に県内6個所で同時配布会を行いました。今年もコロナ禍で困窮する方が多いことを受け、2回目の同時配布会を行うことになりました。今回はFBだけでなく、医療法人、子ども食堂も運営側として参加しています。社会福祉法人や企業の参加も可能ですので、助けあいの栃木をつくるために皆さんの参加お待ちしております。(徳山)



各フードバンクからのメッセージ

◆フードバンクもおか(NPO法人ま・わ・た内) 石田さん

長期のコロナ禍などで生活に困っている方々に寄り添い、食料支援等を行いながら共に歩いていきます。あなたの傍のフードバンクもおかへ、困ったときはいつでもご連絡ください。

◆フードバンクあしがが 吉田さん

社会構造の隙間で困窮する人々は身近にいます。FBのフードロスの解消と、困窮する方への食糧支援という「食が真ん中の支援」に意識を向けてみてください。

◆NPO法人三松会フードバンク北関東 小林さん

普段は暮らしに困っている方へささやかな食料品をお配りしています。今回初めて佐野会場で配布会に参加します。皆さんが窮屈な思いをしている中、少しでも笑顔になっていただけたら嬉しいです。

◆フードバンク日光 平木さん

FB活動はもうひとつの公。行政は税金を使い生活保護等の[公]を。FB活動は市民同士が食品を通して助け合う[公]だ。だからいらっしゃいませ！ご寄付もいつでもお待ちしております！

◆フードバンク那須烏山 小堀さん

コロナ禍で困難を抱えている方々に何か手助けしたいと、市民の皆様から応援の食品等が届いています。市役所・社協とも万全の協力体制の中、配布会をします。気楽にお越しください。

◆フードバンク県北 實さん

この1年、困窮者を取り巻く環境は悪化するばかり。今こそ、自分の生活する地域の隣人に心を配り、立ち話の中でFBや子ども食堂の活動が話題になって、支援の輪が広がる夢を一緒に見ませんか。

どうしたら、家庭の複雑な課題がひもとけるのだろうか？

吉田ユリノさん(相談ボランティア)

突然の電話で一本釣り！

私はライフワークとして50年間、国際協力をしてきました。

以前、フードバンクの「相談・聞き取りボランティア」の募集チラシを見たとき、少し興味を持ちました。しかし、そのときはまだ余力がなく…。今回不思議な縁



ですが、突然Vネットの矢野さん(長い付き合いです)から電話がありました。「相談ボランティアやらないか」とまさかの”一本釣り”。週1回、午後にボランティアをすることになりました。

相談ボランティアははじめました。

まずは、他のボランティアが相談者(Aさん)と話をする様子と一緒に聞きました。Aさんは以前FBを利用したことがあったので、事前にAさんの相談記入シートを見たところ、課題がいくつもあり複雑でした。「どうしたらこの課題がひもとけるのだろうか」と考えていました。しかし、今回の相談を聞き取ると、Aさんも少しずつ前を向いている様子がわかりました。1回話すだけではわからなくても、1つ1つ話をしていくうちに、わからなかった解決策が見えてくることを実感しました。まだボランティアを始めたばかりで、自信はありませんが、これからもできることを取り組んでいきたいです。

今月のSOS

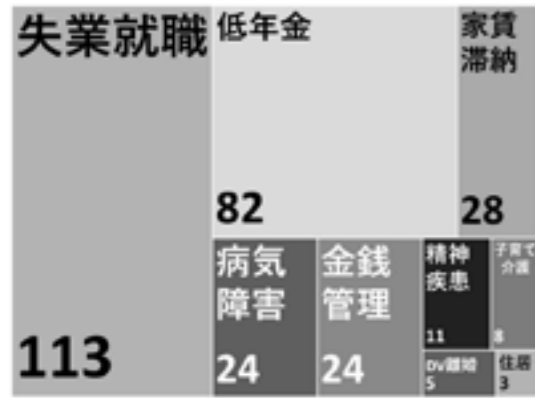
FB 相談世帯数 (食品提供回数)

4月 80 世帯 (支援 172 回)

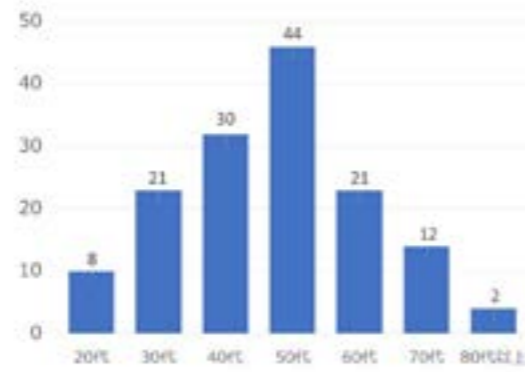
5月 72 世帯 (支援 98 回)

※福祉施設等への食品提供も含む

FB 主な利用理由(2021/4-5)* 複数回答・総数 152 人



FB 年代別 相談者数 (2021/4-5)



50代、40代の相談者が多いです。

仕事を探しているのに見つからない人が多いです。出口支援が求められています。

今月のSOSの一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して掲載。

4月 80 世帯 (複数支援 172 回)

4/1 ● TU 女 60 代・宇都宮。 精神疾患の長男 (10 年来家に引きこもり) と 2 人暮らし、年金のみの生活。3 ヶ月前に骨折し動けなくなった。電気、ガスが時々止まってしまう。年金は 2 ヶ月で 17 万円。生保相談に行くが、車の所有と持家との理由で利用できなかった。⇒米 6 kg 野菜 1 kg 食品 11 kg 支援。⇒●地域包括支援センターへ相談でき

た。今度は社協へ相談に行くよう言われた。
4/1 ● IT 男 50 代・宇都宮。 昨年 8 月より無職。腰痛あり、解雇されてしまった。知的障害ということもあり理解度が低く納得してもらえらうことが困難。経済的に無理をしよう。家と車のローンを滞納。ガス、電気止まっている。弁護士に相談することになった。⇒調理不要な食品 5 kg 支援。
4/2 ● SW 女 30 代・宇都宮。 A 型事業所で勤務しているが収入少ない (月 4 万円)。県北に家があったが、コロナ禍で離職せざるを得ず失業。宇都宮市内の親戚の家に転居し、職探しを始めた。父親は年金で生活。⇒米 5 kg 食品 10 kg 支援。

FBでたすかりました

お米をもらい、息子も娘も、私も食べられるようになりました

田中恵美さん (仮名: 45 歳 / 宇都宮)

5 月に「きずなセット (食品セット)」を受け取りました。何て感謝したらいいのか…本当にありがとうございます。

中でも助かったのはお米です。野球部の息子が食べ盛りなのと、娘の毎日のお弁当でお米を多く使います。ですから、極力私は米を食べないでいましたが、今回いただけてからは、私もお昼にお弁当を持っていけるようになっています。

その他たくさんの食品が箱一杯に詰められていてありがたいですとしか言えません。クッキーが入っていて、息子がとても喜びました。この支援に感謝し、私も仕事 & 内職を頑張り、少しの余裕がもてるようになったときには、食品などの寄付をしたいと思っています。



4/6 ● KM 女 40 代・宇都宮。 4 人暮らし。2 回目の利用。所得と出費のバランスがとれていないので、生活が困窮している。市役所で食品の提供を受けていたが、FB を紹介された。次女の小学校入学にて出費が高んだ。⇒米 10 kg 食品 11 kg 支援。

4/8 ● GR 女 60 代・宇都宮。 4 人暮らし。長男は高校卒業し就職する。夜間接客業をしている娘の収入で生活していたが、コロナで収入減。⇒米 5 kg 食品 7 kg 支援。

4/8 ● IE 男 30 代・宇都宮。 夫婦と子ども 6 人の 8 人暮らし。転居 & 子どもの就学資金で出費が高んだ。本人 (父) は半年前コロナの影響で失業。現在別の会社で運送業をしている。⇒米 22 kg 食品 17 kg 支援。

4/10 ● EY 男 50 代・宇都宮。 生保断われ、社協に相談する。貸付もダメだった。料理が出来ずコンビニ食なのでお金が掛かる。1 日 1 食にしているが弁当代で月 5 万円かかる。身体障害で仕事ができず、母親の年金で生活。⇒米 5 kg 食品 5 kg 支援。

4/24 ● EY 女 20 代・宇都宮。 コロナの影響でアルバイトのシフトが減少し困窮。実家に戻り両親含め 6 人で生活。GW 中子どもが一人でも食べられる食品を支援して欲しい。⇒食品 3 kg を支援。子ども家庭課へ相談を勧める。

5月 72 世帯 (複数支援 98 回)

5/1 ● UO 男 60 代・宇都宮。 年金が入るまで食品支援をしてもらいたい。2 年前から脳梗塞を三度発症。身体障害者。後遺症のため自営の仕事を辞めざるを得なかった。2 ヶ月 7 万円の年金のみでは生活できず市

フードバンクから見える女性の生活困窮

小澤勇治 ● 本会職員

FB うつのみやの HP のブログをご覧になっているだろうか。2020 年度の利用者の倍増を、3 つの特徴にまとめている。① 20 代の相談者が昨年比約 2 倍、② 40 ~ 60 代の現役世代の相談が多い、③ 70 代の利用者が約 2 倍。そして利用者相談 (前 2 年比較) の状況では、①複数回の相談者が約 2 倍、②毎年 4 ~ 5 月に相談が増える傾向、③今後も増加の可能性は大、とコロナ禍の影響で生活困窮の度合いが深まり、ひとりや家族での努力だけでは生活再建が立ち行かない事態が増えている。

利用の男女比 (世帯毎) は男性世帯 : 女性世帯 = 7 : 3 の割合で、例年と比べほぼ変動はない。しかし全利用者における独居男性の割合は 2019 年度 6 割を占めていたが、今年に入り 5 割台と大幅に減少してきた (独居男性世帯割合 : 19 年度 60.1%、20 年度 58.1%、21 年 6 月まで 52.3%)。利用者全体が増えているため一概に言えないが、失業などでダイレクトに貧困に結びつくことが多い独居男性とは、また違った困窮世帯が表面化してきたように思われる。そこで、最近の女性の利用相談の特徴をみてみよう、相談記録を見返してみた。

20 代から 80 代まで共通して「シングルマザー」の利用が多い。一般的に未婚の母や、離婚などを経験し「子育て中のひとり親の」母を指すが、FB ではそれに加え 8050 問題を背景にした「子と母」の世帯がみられる。いずれにせよ母の収入に頼って生活せざるを得ない「子」を抱えた世帯である。

◆① 20 代 若くして出産⇒支援制度を活用しながら働くが… 20 代で特徴的なのは石井さん (21 歳) だ。療育手帳を所持し 20 歳前に妊娠したため、子育て支援を受けながら生活する。産休後は保育園に子どもを預け障害者雇用枠で働いている。子どもは体調を崩しやすいため、その都度仕事を休まざるを得ない。障害年金と就労収入だけでは安定した生活には程遠い。石井さんには障害者支援相談員を通じ出産時から度々食品支援を行っている。

◆② 30・40・50 代「子どもの教育費」と「養育費未払い」 30 代 ~ 50 代前半では、教育費用が家計に大きな負担を強いている。甘利さん (51 歳) は、高 2 の長女と中 3 長男、中 1

二女を育てるシングルマザーである。派遣社員として医療機関に働きながら、もう一つ仕事をこなし生活費を稼いでいる。バス通勤しているが、節約のため、乗車区間を市内料金までとし 5 停留所を歩いている。「長女は大学進学を希望している。かなえてやりたい」と話す。離婚した元夫に、弁護士を介して養育費を請求しても、継続的には支払わない。その他、FB を利用するシングルマザーは、養育費を請求せずに離婚したケースが多い。

◆③ 70 ~ 80 代 「就労できない子ども」と「低年金」 70 ~ 80 代では、引きこもりとなり就労できない 40 ~ 50 代の子と暮らす「子と母」の世帯である。収入が少なく、絶対的に生活費が足りない。木村さん (80 歳) は 10 年近く働くことができない 47 歳の一人息子と暮らしている。学校卒業後、自動車工場で働いていたが、人間関係が上手く行かなくなり、引きこもりとなってしまった。木村さんは年金を受給しているが、独り生活がやっとの年金額だ (FB に来るほとんどの女性は低年金)。数回 FB を利用する中で、長男は「働きたい」とハローワークの就労支援に通うようになるほど、明るく話せるようになってきた。

◆全世代 「病気」や「不安定雇用」さらにコロナ禍で… 全世代的に、同居家族を含め、自らの病気や不安定雇用も困窮の大きな原因だ。20 ~ 40 代にうつ状態など精神疾患が見受けられる。病気のことはあまり多くを語らないため「病院は行っているの？」との声かけ程度の聞き取りに終わっていることが多い。きちんと医療や福祉のサービスにつながると生活改善の方向が見えてくると思われる。

さらに、コロナ禍で際立っているのは失業や減給だ。女性の働く場所で多いのがサービス業である。白井さん (51 歳) は飲食店アルバイトで生計を立てている。個人経営で、「店主も従業員もみんな収入減となっている」と語っていた。国の緊急事態解除宣言が出された期間は全くの収入ゼロの日が続いた。高 1 の長男と暮らす小川さん (51 歳) は、となり町の温泉施設で働いているが「このままお客さんが来なければ施設閉鎖と言われた」と話す。シフトが減り手取り額が少なくなるだけでは済まない事態となっている。

コロナ禍における女性の生活困窮はますます深まって行く様相を呈している。

※本文中の名前はすべて仮名です。

役所へ相談中。県営住宅の減額措置を受けている。⇒米 2 kg 食品 3 kg を支援

5/6 ● YT 女 60 代・宇都宮。 3 人の子どもに障害があり、夫とは離婚し一人で子どもを育ててきた。現在子は成人し、27 歳の次女と 2 人暮らし。介護の仕事をしているがコロナ禍のため出勤人数が減ったため収入もそれに伴い減ってしまった。別の仕事を探している。⇒米 6 kg 食品 6 kg を支援。

5/7 ● AK 女 50 代・宇都宮。 「簡単に仕事が見つかるわけがない」。今まで、ぎりぎり生活をしてきたが、失業。求職活動するも見つからない。預貯金もないので、市役所で生活保護の相談をしたとき、

FB のことを知った。⇒食品 5 kg を支援。

5/8 ● AS 男 30 代・宇都宮。 県北で父と同居して生活してきたが、父親が病気で倒れ働けなくなった。家のローンが払えなくなって、競売されてしまった。その後家賃を払うことでその家に住んでいたが、家賃も払えなくなり追い出されてしまった。仕事を求め宇都宮へ移動してきたが、仕事の当てはまだない。⇒食品 4 kg を支援。住み込みの仕事を希望していたので宮ハローワークを紹介した。

5/19 ● EY 男 20 代・宇都宮。 妻の病気と子育て (0 歳) もあり、昨年より仕事を休みがちとなった。2 月に正式に退職。社

協相談にて住確、総合福祉資金を 4 月より実行されている。妻は自立支援医療にて 19 歳の時より精神科受診している。体調もよくなってきたため、就職活動を始めている。⇒食品 9 kg 支援。

5/20 ● UO 男 50 代・宇都宮。 コロナ禍で仕事が無い。生保利用しながら日雇いで働いていたが、昨年より仕事が月 1 ~ 2 回となり、現在は無い。震災で家が流されてしまった。それまでは、昼は運転手、夜は飲食店で仕事をしてきた。⇒米 3 kg 食品 5 kg 支援。



フードバンク応援団!

このコーナーでは、フードバンクの団体会員に入会していただいた企業・団体を紹介します。

中古車販売も「もったいないをありがとうに」



JU 栃木 指導環境委員長 大森敏臣さん



きずな BOX 設置! ▶

「栃木県中古自動車販売協会・栃木県中古車販売店商工組合（総称 JU 栃木）」は、全国 47 都道府県の中古車販売店商工組合の連合会からなる国内最大の団体です。経済産業大臣と国土交通大臣の認可を受けた公的団体の栃木県支所です。中古車流通の適性化と健全化を目的に設立され、間もなく半世紀を迎えます。社会貢献の一貫として FB うつのみや様にご協力させて頂いております。FB の食品を使つてのダイレクトな支援・「もったいないをありがとうに」という私達の扱う中古車と同じ様な考えに共感を持ち、応援しています。私達も、子ども 110 番のお店や、県内でのおもいやり駐車スペース利用証の寄贈など、地域に根ざした活動を行っております。FB と一緒に活動しながら、沢山勉強させて頂き、もっともっと社会貢献活動を活発に行いたいと思います。

◆JU 栃木さんには、食品や資金の寄付を頂いていて、大変感謝をしています。これからもご支援をよろしくお願いいたします。(木下)

フードバンク+個別相談は全国唯一。一緒にボランティアしましょう!

藤咲 健司さん (40代・サラリーマン・相談ボラ)

FB うつのみやが全国に約 110 ある FB の中でほぼ唯一「個別相談窓口」を常設していると知ったのは、実は相談ボランティアをはじめからでした。「困った方に寄り添える」貴重なボラへ参加出来る場が栃木にはあるのです。昨年度はコロナ禍の影響で前年比 50% 増となる 1,300 件近い相談を受け、現在も毎日多くの方が相談に訪れています。

ぜひ私たちと一緒にまずは「困っている方のお話を聞くボランティア」をはじめませんか? もちろん未経験者歓迎です (←実は僕もその一人です)。



会議は
毎週木曜
16時~

わからないことはメンバーで
解決策を練ります

泉が丘支所も開いています

住所: 宇都宮市泉が丘 3-4-5

6月からの開所

⇒水・金・土 12~16時

- ①食品提供
- ②食品寄贈の受付
- ③ボランティア
- ④2階の活用



FB ボランティア募集

●問 /028-348-3412

・相談聞き取りボランティア

FB に「食品ほしい」と来る人の話を聞きシートに記入します。不安な人は研修も受けられます。1回2時間、週1・2回程度。

・食品回収ボランティア

スーパーマーケットや施設に置いてあるきずなボックスの食品の回収や、寄付の玄米の精米で、車(軽バン)を運転します。

・食品管理ボランティア

入庫した食品の賞味期限を確認し、期限ごとに食品棚に並べます。相談者へ渡す食品も準備します。週に1~2日、2~4時間位が目安です。

・パソコン入力ボランティア

食品の入庫・出庫伝票のデータをパソコンに打ち込みます。

会員・寄付者

ありがとうございます♡



6/26 現在: 正会員 34人、賛助 133人、団体 7)

《4~5月の新入会員》※敬称略

■正会員 / 石江力、佐藤貞子、村山紗弥香、羽石洋子、田村紀子、自見裕仁、伊東由晃、徳山篤

■賛助会員 / 菊池麻美、齋藤恵子、齋藤継正、廣田光子、折原恵子、中村和夫、岩瀬智信、小針雅美、池田とし江、軽部憲彦、佐藤明宏、堀江裕弥子、小泉直哉、高橋昭彦、永森裕子、小林善次、飯塚仁美、小倉山悦子、アレクサンダー舞、平尾洋子

《4~5月の寄付者》※敬称略

永森裕子、本橋泰子、イトランド株式会社、田村紀子、飯塚仁美、齋藤継正、加藤秀子、小針雅美、栃木県済生会宇都宮病院、小川光子、小泉直哉、高橋明彦、恵光寺

「もったいない」を「ありがとう」に。会員を大募集中!

ボランティアも

◆会費(年間)

- ◎ 正会員 12,000 円
- ◎ 賛助会員 3,000 円
- ◎ 団体会員 30,000 円
- ◎ 学生サポーター 1,000 円

会費・寄付はこちら ※匿名希望の方はご連絡ください

■銀行

栃木銀行 馬場町支店 普通 1086399

名義 / 特定非営利活動法人フードバンクうつのみや 理事 徳山篤
※領収書発行のため、メールか電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局

宇都宮 00260-2-90882

特定非営利活動法人フードバンクうつのみや

■ Web サイトからクレジットカードでのご寄付もできます。



HP



Twitter